幕末・開国

名前

問1　19世紀前半、江戸幕府は日本に近づく外国船に対して、当初は砲撃して追い払う強硬な姿勢をとっていましたが、1842年にはその方針を大きく転換しました。この政策転換の背景となった国際的な状況と、転換後の対応について述べたものとして正しいものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、武力衝突を避けるため、外国船に薪や水を与えて穏やかに退去させる方針をとった。
2. 清がアヘン戦争でイギリスを撃退したことを知り、幕府も自信を深め、外国船をより徹底的に打ち払う方針を強化した。
3. 産業革命を成功させたロシアが南下政策を強めたため、幕府はロシアと軍事同盟を結び、イギリスやアメリカの船を攻撃させた。
4. アメリカのペリーが浦賀に来航して開国を強く迫ったため、幕府は即座にこれを受け入れ、すべての外国船を自由に寄港させた。

問2　独立後のアメリカ合衆国で制定された合衆国憲法において、権力の集中を防ぎ国民の自由を守るために採用された、国家権力を立法・行政・司法の三つに分ける仕組みを何と呼びますか。（2025年 長野県公立入試 類似）

1. 三権分立
2. 議院内閣制
3. 直接民主制
4. 社会主義

問3　イギリスとインドの歴史的経緯をまとめた記録において、18世紀から19世紀にかけて、インドからイギリスへ綿織物を輸出する形から、逆にイギリスからインドへ綿製品が大量に流入する形へと貿易構造が変化しました。この変化をもたらした最大の要因として正しい説明を選びなさい。（2023年 三重県公立入試 類似）

1. イギリスで産業革命が起こり、安価な機械製の綿製品が大量生産されるようになったため。
2. 東インド会社がインド全域での綿花栽培を中止し、食料増産を優先させたため。
3. フランスとの植民地抗争に勝利したイギリスが、インドの全港を封鎖したため。
4. インド大反乱の結果、イギリス政府がインドでの綿織物生産を法律で禁止したため。

問4　19世紀、イギリスは中国（清）からの茶の輸入超過による銀の流出を防ぐため、植民地のインドを介した「三角貿易」の仕組みを整えました。この貿易において、イギリスの貿易赤字を解消するためにインドから中国へ密輸出され、のちにアヘン戦争の原因となった品物はどれですか。（2023年 山口県公立入試 類似）

1. 香辛料
2. アヘン
3. 綿織物
4. 絹

問5　1854年に締結された日米和親条約の内容と、その背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. アメリカとの間で本格的な自由貿易を開始し、幕府が関税自主権を確保することを目的とした。
2. 外国船の排斥を定めた「異国船打払令」をさらに強化し、沿岸の警備を厳重にすることを目的とした。
3. 漂流民の救助や、船の航行に不可欠な薪水・食料を供給することを主な目的とした。
4. 長崎に加えて新たに下田・函館を開港し、キリスト教の布教を正式に許可することを目的とした。

問6　18世紀後半に産業革命を達成し「世界の工場」と呼ばれた国家の、地理的および歴史的な特徴についての説明として最も適切なものはどれか。なお、この国はヨーロッパの地図において、イタリア半島やイベリア半島よりも北西に位置する島国である。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. アフリカ大陸の北西端に位置し、イスラム文化圏とヨーロッパ文化圏を結ぶ要所として機能していた。
2. 蒸気機関を利用した機械工業が発達し、1808年には軍艦が長崎へ侵入するなどの対外進出を強めた。
3. 15世紀末から大西洋を越えてアメリカ大陸への進出をいち早く進めたが、18世紀の産業革命の発生源ではない。
4. 地中海貿易の拠点として繁栄し、ルネサンスの文化が花開いたが、産業革命の開始は他国より遅れた。

問7　江戸幕府が結んだ日米修好通商条約が、なぜ「不平等条約」と呼ばれるのか、その制度上の理由を述べたものとして正しいものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. アメリカの軍艦が日本の沿岸を自由に測量し、軍事基地を建設する権利を認めていたから。
2. 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判する権利を日本側が認めていたから。
3. 日本が輸出品に対して自由に高い税率をかけ、アメリカの利益を損なう仕組みだったから。
4. 日本側がアメリカに対して、一方的に最恵国待遇を与えることが定められていたから。

問8　19世紀前半、江戸幕府は日本の沿岸に近づく外国船を無差別に追い返す「異国船打払令」を出していましたが、1842年には方針を転換し、薪や水、食料を与えて帰帆させる「薪水給与令」を出しました。幕府がこのような方針転換を行う直接的な背景となった、清がイギリスに敗北した出来事を選択肢から選びなさい。（2020年 静岡県公立入試 類似）

1. 矢面事件（アロー戦争）
2. 辛亥革命
3. アヘン戦争
4. 日清戦争

問9　1858年、江戸幕府の大老である井伊直弼が、朝廷の許可（勅許）を得ないままアメリカと結んだ条約について、その内容と性質を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 下田と箱館の2港を開港し、アメリカ船に食料や石炭を供給することを約束した。
2. アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。
3. イギリスとの軍事同盟を結び、ロシアの南下政策に対抗することを目的とした。
4. 日本が清の独立を承認し、領事裁判権を相互に認め合う対等な内容であった。

問10　19世紀後半にプロイセン王国を中心に行われたドイツの統一について、その中心人物と統一の過程について述べた文として正しいものはどれですか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 蒸気機関の改良による産業革命の進展に伴い、経済的な利害の一致のみを理由として自然に統合された。
2. 首相ビスマルクが「鉄血政策」と呼ばれる強力な軍備拡張を推進し、武力によって統一を成し遂げた。
3. ナポレオン1世がヨーロッパの広範囲を征服したことをきっかけに、各都市が自発的に統合して帝国となった。
4. 議会を中心とする話し合いによって、周辺諸国との平和的な話し合いを通じて全ドイツ連邦が統合された。

問11　幕末に佐賀藩や水戸藩、薩摩藩、韮山（伊豆）などで反射炉が建設された歴史的な背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 佐賀県公立入試 類似）

1. 日露戦争に備えて、大型の軍艦を建造するための鋼鉄を国産化し、軍事力を高めること
2. 外貨を獲得するために、生糸の品質を向上させて大量生産し、欧米諸国へ輸出すること
3. 開国によって混乱した貨幣制度を整えるために、金や銀を精錬して新しい硬貨を鋳造すること
4. アヘン戦争での清の敗北などを背景に、沿岸防備を強化するための鉄製大砲を自前で製造すること

問12　1867年に第15代将軍の徳川慶喜が、政権を朝廷に返上する「大政奉還」を行った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）

1. 全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させ、天皇を頂点とした中央集権的な国家体制を直ちに完成させるため。
2. 鎖国体制を維持することが困難になったため、幕府を解体して全ての外交権を朝廷に委ね、外国勢力の排除を求めたため。
3. 倒幕派による武力行使の口実をなくし、徳川家が参加する形での新たな公議政体によって、引き続き政治の主導権を握ろうとしたため。
4. 戊辰戦争において旧幕府軍が新政府軍に敗北し、降伏の条件として朝廷から政権を譲り渡すよう要求されたため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 清がアヘン戦争でイギリスに敗れたことを知り、武力衝突を避けるため、外国船に薪や水を与えて穏やかに退去させる方針をとった。	幕府は1825年に異国船打払令（無二念打払令）を出し、日本沿岸に近づく外国船を問答無用で攻撃していましたが、当時の先進的な軍事力を持つイギリスの蒸気船に対し、大国であった清がアヘン戦争で敗北したという知らせが届くと、幕府は大きな衝撃を受けました。強力な軍隊を持つ外国との無謀な衝突を避けるため、1842年に薪水給与令を出し、燃料である薪や水を与えて穏やかに退去させるという、以前よりも柔軟な外交方針へと変更しました。
問2	答え 1 三権分立	モンテスキューが『法の精神』で提唱した考え方に基づき、権力が一箇所に集中して独裁が行われるのを防ぐために導入されました。アメリカ合衆国は、この三権分立を厳格に取り入れた世界初の近代共和制国家となりました。大統領（行政）、連邦議会（立法）、裁判所（司法）がそれぞれ独立し、互いに抑制し合う仕組みになっています。
問3	答え 1 イギリスで産業革命が起こり、安価な機械製の綿製品が大量生産されるようになったため。	18世紀後半にイギリスで産業革命が進展すると、工場での機械生産によって安価な綿製品が大量に作られるようになりました。これにより、それまでイギリスが輸入していたインドの伝統的な手織り綿織物は競争力を失い、逆にイギリス製の綿製品がインド市場へ流入することとなりました。この経済的な打撃は、のちのインド大反乱の一因ともなっています。
問4	答え 2 アヘン	イギリスは当初、中国から茶や絹を大量に輸入していましたが、中国側がイギリス製品をあまり必要としなかったため、イギリスから中国へ大量の銀が流出していました。これを打開するため、イギリスは植民地であるインドでアヘンを栽培させ、それを中国へ密輸出させることで、代金として中国から銀を回収する仕組み（三角貿易）を構築しました。
問5	答え 3 漂流民の救助や、船の航行に不可欠な薪水・食料を供給することを主な目的とした。	アメリカが日本に開国を迫った背景には、北太平洋での捕鯨船の補給基地や、中国へ向かう蒸気船の寄港地を確保したいという狙いがありました。そのため、日米和親条約は「貿易」を目的としたものではなく、遭難した乗組員の保護や、燃料（薪）・水・食料の補給を認める内容が中心となっていました。本格的な貿易が認められるのは、1858年の日米修好通商条約を待つことになります。
問6	答え 2 蒸気機関を利用した機械工業が発達し、1808年には軍艦が長崎へ侵入するなどの対外進出を強めた。	イギリスは18世紀後半に世界に先駆けて産業革命を達成し、圧倒的な経済力と軍事力を背景に世界各地に進出しました。日本に対しても、1808年のフェートン号事件を通じて圧力をかけ、それまでのオランダ中心の貿易体制を脅かしました。他の選択肢は、イタリア、スペイン、モロッコ（北アフリカ）の特徴を述べたものです。
問7	答え 2 日本国内で罪を犯した外国人を、その国の領事が裁判する権利を日本側が認めていたから。	不平等とされる最大の要因の一つは、領事裁判権（治外法権）の承認です。これにより、外国人が日本で犯罪を犯しても日本の法で裁くことができず、主権が侵害されている状態でした。もう一つの大きな要因は、関税自主権の欠如であり、日本が自国の産業を保護するために輸入品の税率を自由に決めることができなかった点が挙げられます。
問8	答え 3 アヘン戦争	江戸幕府は1825年に異国船打払令を出して強硬な姿勢をとっていましたが、1840年に始まったアヘン戦争で、当時アジアの大国であった清がイギリスの圧倒的な軍事力の前に敗北した情報を得ました。この出来事に衝撃を受けた幕府は、西洋諸国との無用な武力衝突を避けるために政策を緩和し、遭難した外国船に補給を認める薪水給与令を出して、対外政策を軟化させました。
問9	答え 2 アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権がない不平等な内容であった。	日米修好通商条約は、貿易を開始するために結ばれた条約ですが、日本に在留する外国人が罪を犯しても日本の法律で裁けない「領事裁判権（治外法権）」を認め、輸入品の関税率を自国で決める「関税自主権」が日本にないなど、日本にとって不利な不平等条約でした。井伊直弼が勅許を得ずに調印したことは、後の尊王攘夷運動を激化させる要因となりました。
問10	答え 2 首相ビスマルクが「鉄血政策」と呼ばれる強力な軍備拡張を推進し、武力によって統一を成し遂げた。	1862年にプロイセン王国の首相に就任したビスマルクは、ドイツの統一問題は言論ではなく「鉄（武器）と血（兵士）」によってのみ解決されると主張しました。この方針の下、プロイセンは軍備を増強し、デンマーク、オーストリア、そしてフランスとの戦争に勝利することで、1871年にドイツ帝国の成立を果たしました。
問11	答え 4 アヘン戦争での清の敗北などを背景に、沿岸防備を強化するための鉄製大砲を自前で製造すること	アヘン戦争で清がイギリスに敗れたニュースは当時の日本に大きな衝撃を与え、沿岸警備の強化が急がれました。それまでの青銅製の大砲よりも射程や破壊力に優れた鉄製大砲を作るには、不純物の少ない鉄を高温で溶かす必要があり、そのための施設として反射炉が各地に築かれました。生糸の輸出は明治初期、鉄鋼の国産化（八幡製鉄所）は明治後期、貨幣制度の整備は明治政府による円の導入などが該当するため、時期や目的が異なります。
問12	答え 3 倒幕派による武力行使の口実をなくし、徳川家が参加する形での新たな公議政体によって、引き続き政治の主導権を握ろうとしたため。	徳川慶喜は、土佐藩などの提案を受け入れ、形式的に政権を朝廷に返すことで、武力討伐を目指していた薩摩・長州藩の機先を制しようとしました。これは、内戦を回避すると同時に、有力諸藩の会議の中で徳川家が依然として有力な政治勢力として残ることを狙った高度な政治的策略でした。戊辰戦争は、大政奉還の後に倒幕派が王政復古の大号令を発し、徳川家を排除しようとしたことから始まります。